

管機連 Daily News

2021年1月13日(水)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆街角景気 悪化続く 12月は20年5月以来の低水準

・新型コロナウイルスの感染拡大による景況感の悪化が加速。内閣府が12日発表した2020年12月の景気ウオッチャー調査によると、景気の現状判断指数(DI)は前月比10.1ポイント低い35.5だった。2カ月連続で下がり、5月以来の低水準に逆戻り。2度目の緊急事態宣言が出た年明け以降、さらに低下する可能性がある。

◆20年度のDV相談、最多の13万件超 コロナ外出自粛で

・2020年度のドメスティックバイオレンス(DV)の相談件数が昨年11月までの総数で13万2355件に上り、過去最多となったことが12日、内閣府の調査で分かった。新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛が影響。今後膨らむ事態が懸念される。内閣府は「自宅で過ごす時間が長くなり、ストレスや生活不安を抱えて暴力に至る事例が増えている」と分析。

◆12月の銀行預金9.3%増の802兆円 過去最大の伸び・残高

・日銀が12日発表した2020年12月の貸出・預金動向(速報)によると、全国の銀行の預金平均残高は前年同月比9.3%増の802兆8673億円だった。伸び率、残高ともにこれまでで最も大きくなった。企業が手元資金を確保するために社債を発行しているほか、設備投資の圧縮や経費の抑制で支出を抑えており、法人預金が増加している。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆TOTO、健康トイレ開発へ 排せつ物分析

・TOTOは12日、人の排せつ物などを分析して生活習慣などに関する助言をする「健康トイレ」を開発すると発表した。国内外のヘルスケア関連のスタートアップや研究機関と組み、数年後の発売を目指す。トイレが毎日使う生活必需品であることに着目。新型コロナウイルス禍で世界中の衛生意識が高まるなか、トイレの新たな可能性を探る。

◆部屋の換気をIoTで自動化 エアアズアサービス

・三井物産とダイキン工業子会社が出資する空調サービスのエアアズアサービスは、デジタル技術を使いオフィスや飲食店などの部屋の換気を最適にするシステムの販売を始めた。混雑具合や二酸化炭素(CO2)濃度を監視し、換気扇などを自動で調整。新型コロナウイルス感染拡大で人の密集を避ける需要に対応。3年で100施設への納入を目指す。

◆Jパワー、石炭火力を重油で緊急再稼働 電力逼迫で

・発電事業者のJパワーが電力需給の逼迫に対応するため、停止中の石炭火力発電の燃料に重油を使い、14日にも稼働させることが分かった。停止中の発電所は石炭をくたく設備が故障しているが、発電設備そのものは動かせるため、緊急的に重油を使う。石炭火力の主力燃料に重油を使うのは極めて異例な対応。

《 注目商品 》

■ノーリツ、普及価格帯ガスコンロ「Fami(ファミ)」をリニューアル

・普及価格帯のガスビルトインコンロ「Fami(ファミ)」のお手入れ性とデザイン性を向上させてリニューアルし、3月1日に発売。お手入れしやすいガラストップを備え、使いやすさとお求めやすい価格を両立。ゴトクとバーナーキャップを刷新して、バーナーまわりの清掃性を高めた。



■セラトレーディング、シャープな印象の洗面アクセサリ

・ドイツ・EMCO(エムコ)社の洗面アクセサリ「LIAISONシリーズ」からタオルバー、トレイ、フックを発売。2004年に取り扱いを始めた同シリーズをモデルチェンジ。継ぎ目や凹凸のない直線基調のシャープなデザインが特徴。タオルバーとオプションの専用トレイを組み合わせ、シェルフとして使用可。



■ノーリツのエコジョーズ、宅外からの入浴状況見守り機能を強化

・スマートフォンを通じて外からでも家族の入浴状況を把握できる機能を拡充したエコジョーズ「GT C2462シリーズ」と無線LAN対応給湯器リモコンを3月1日発売。高効率ガスふろ給湯器をリニューアルし、入浴事故防止のための遠隔見守り機能を強化。呼びかけと応答有無の確認が可能に。

